

きゅうしゅう

NO.52



写真：UH-60JAの編隊飛行
(提供：陸上自衛隊目達原駐屯地広報室)

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊 目達原駐屯地
2. 自治体紹介：佐賀県 吉野ヶ里町
3. インフォメーション：米軍再編に係る訓練移転の支援
感謝状贈呈



写真：ストレッチャーを使用したヘリ救助訓練
(提供：陸上自衛隊目達原駐屯地広報室)

1. 部隊紹介

陸上自衛隊 目達原駐屯地

Japan Ground Self Defense Force Camp METABARU



九州補給処長 兼ねて
目達原駐屯地司令

陸将補 吉野 俊二

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆さま、九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令の吉野将補です。

目達原駐屯地は、葉隠れの里佐賀県で唯一の陸上自衛隊駐屯地として、吉野ヶ里遺跡で有名な吉野ヶ里町（一部は上峰町）に位置し、九州から沖縄・先島地域までの千数百キロの範囲をカバーする兵站・航空部隊の中核です。

このため目達原駐屯地に所在する隊員の多くは兵站（ロジスティクス）と航空を専門とする技術者集団であり、補給・整備能力の向上や操縦技術の向上等、日々訓練を積み重ねています。

近年の我が国を取り巻く安全保障環境は日々厳しさを増しており安寧とはいえません。このような第一線部隊の任務を支えているのが目達原駐屯地であり、木に例えるなら「根っこ」の部分になります。根っこの育成が悪いと立派な木にはなりません。しかし、逆に根がしっかりしていると立派な木に育ちます。我々の日々の訓練や業務には決して派手さはなく目立たないかもしれませんが、しかしながらこの地道な訓練や業務を着実・確実に積み重ねることが延いては隊員の知識や技術を向上させ、部隊が精強になり、駐屯地の信頼に繋がり第一線部隊をしっかり支えることができるものと確信しています。我々はこの時期に、西部方面隊、就中、目達原駐屯地に勤務できることを誇りに思い任務に邁進しています。

目達原駐屯地は今年で創立66周年を迎えました。これまで築いてきた地域の皆様の信頼や部隊の伝統を大切にするとともに、これからも国民の皆様から信頼される駐屯地を目指してまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

駐屯地ロゴマーク



全体の円：「駐屯地の融和と団結」
 下方の桜：「陸上自衛隊を象徴」
 二羽のかささぎ（県鳥）：「兄弟の情愛」
 西：「西部方面隊」
 山：「脊振山に日輪の輝き」
 M：「METABARUのM」

駐屯地の歴史

佐賀市内より東方約13kmに位置する目達原駐屯地は、古くは鍋島藩の武芸鍛錬場、また、大東亜戦争末期に大刀洗陸軍飛行学校目達原分校（飛行場）であり、若者53名の特攻機出撃の歴史があります。

昭和29年陸上自衛隊目達原駐屯地として開設され、以降、西部方面隊の兵站部隊及び航空科部隊として充実・発展した佐賀県唯一の陸上自衛隊の駐屯地です。



駐屯地資料館



館内の様子

進化し続ける部隊



ホイスト救助



射撃訓練

備えの重要性



物資補給・輸送



入浴支援

目達原駐屯地

地域との交流

九州補給処

西部方面後方支援隊

第3対戦車ヘリコプター隊

西部方面ヘリコプター隊

第4飛行隊

西部方面管制気象隊
第1派遣隊

西部方面通信群本部中隊
映像写真小隊空中伝送班

第321基地通信中隊

西部情報保全隊
目達原情報保全派遣隊

第134地区警務隊
目達原派遣隊



職場体験



生活体験



夏休みちびっ子大会

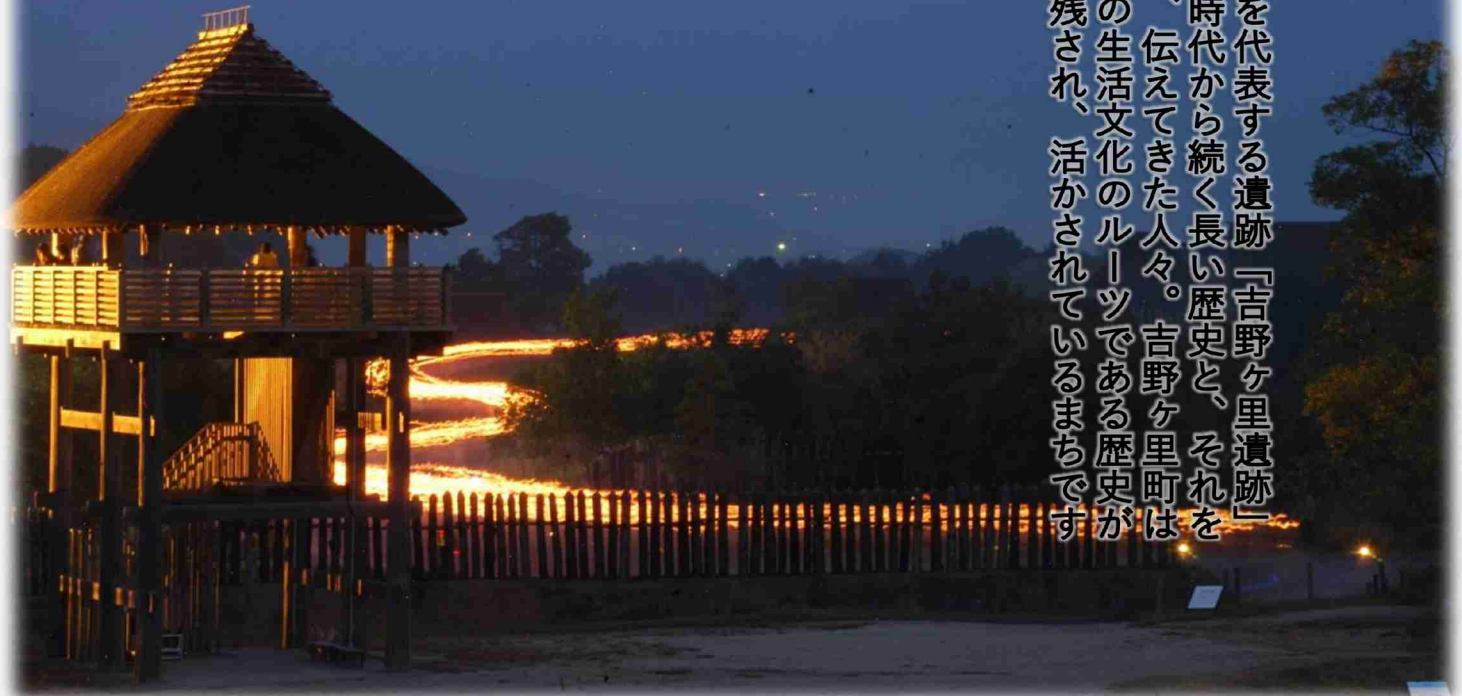


防災訓練

2. 自治体紹介 (佐賀県吉野ヶ里町)



日本を代表する遺跡「吉野ヶ里遺跡」弥生時代から続く長い歴史と、それを守り、伝えてきた人々。吉野ヶ里町は日本の生活文化のルーツである歴史が今に残され、活かされているまちです



吉野ヶ里町は九州の佐賀県にあります。



優れた立地条件

立地に優れ、長崎街道の宿場町としても栄えました。

長崎IC	約13分	長崎IC	約10分
長崎自動車道	約45分	長崎自動車道	約25分
佐賀空港	約40分	吉野ヶ里町	
福岡空港	約40分		

町長あいさつ

佐賀県吉野ヶ里町は、南北に細長い地形で、邪馬台国の時代に弥生人が暮らしていた吉野ヶ里遺跡を有しており、吉野ヶ里歴史公園には年間70万人以上が来園されます。

歴史公園駐車場では、100店以上のユニークなお店が立ち並び「吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市」が毎月催されています。

今年度は、東脊振IC周辺に、アドベンチャーパレー-SAGAを開園しました。脊振山の自然を生かして作られたアドベンチャー施設を楽しむために、県内外から多くの方が来られています。さらに

今年度、マウンテンバイクコースやジップトリップコースなどの遊具施設を園内に増設し来春オープン予定です。自然を満喫した後は、佐賀平野を一望できる温泉施設「山茶花の湯」で入浴と食事を楽しんでいただけます。

今後も歴史や文化、自然環境の豊かな吉野ヶ里町の魅力を活かし「ひとよし・まちよし・住んでよし」のまちづくりを進めていきます。本町には、JR吉野ヶ里公園駅、長崎自動車道東脊振ICがあります。ぜひ、吉野ヶ里町にお越しください。



吉野ヶ里町長 伊東 健吾



自衛隊との関わり

本町に所在する目達原駐屯地は、佐賀県唯一の陸上自衛隊として、「吉野ヶ里町夏ふれあい祭り」や桜の開花時季に合わせた駐屯地の一般開放などさまざまな行事を通じて、町民との交流を深めています。

また、近年多発する水害などの大規模な災害が発生する恐れが高まった際には、速やかに災害対応ができるように連絡員の派遣などの協力をいただいています。

本町としましては、自衛隊の皆様と連携を図りながら防災体制の強化に取り組み、町民と基地が共存する、よりよいまちづくりを進めていきます。



吉野ヶ里町のふるさと納税

佐賀牛ヒレステーキ



180g×2枚

【高級希少部位】佐賀牛ヒレステーキ180g×2枚

寄付金額50,000円

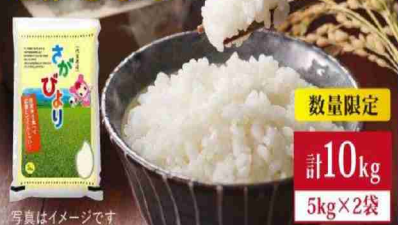
ヒレ肉は、一頭の牛から、わずか3%程度しか採れない特別な部位です。舌触りがまろやかで、とろけるほどやわらかい肉質が特徴。

脂肪分が少ないため、「脂っこさが苦手」な方でも、老若男女問わず食べやすい部位で、噛むほどに美味しい肉の旨味をご堪能いただけます。

ヒレステーキでご夕食を豪華に！皆さんで美味しい佐賀牛のヒレ肉をお召し上がりください！

大粒でしっかりとした食べ応え！

さがびより



写真はイメージです

【数量限定・佐賀県産米】Aランクさがびより5kg×2

寄付金額10,000円

自然豊かな佐賀県の大地で育った新しい品種「さがびより」は日本穀物検定協会の「米の食味ランキング」で10年連続「特A評価」を受けている品種です。

お米の粒が大きく、炊いた時の艶や香りがとても良く、もっちりとした食感が特徴です。

3. インフォメーション

米軍再編に係る訓練移転の支援について

令和2年10月26日～11月5日にかけて令和2年度日米共同統合演習（実動演習）「キーン・ソード21/O2FTX」が日本周辺海空域、各自衛隊、在日米軍施設において実施されました。

本訓練は、武力攻撃事態等における自衛隊の運用要領及び日米共同対処要領を演練し、自衛隊の即応性及び日米の相互運用性の向上を図るものです。

この日米共同統合演習の中で九州防衛局の管内において、主な訓練として以下の訓練が行われ、当局がその支援を行いました。

【米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転】

令和2年10月26日～11月5日の間、航空自衛隊新田原基地を拠点に米空軍嘉手納飛行場所属のF15戦闘機12機が参加した日米共同訓練を実施しました。

本訓練は、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的に実施されており、今回は四国沖空域等において戦闘機戦闘訓練等を実施しました。

同訓練の実施に当たり、九州防衛局は10月19日～11月11日の間、職員を派遣し、九州防衛局現地対策本部を航空自衛隊新田原基地内に開設するとともに関係自治体等に訓練の情報提供などを行いました。



▲現地対策本部の様子



▲訓練に向かうF-15戦闘機



▲日米での集合写真

【米軍再編に係る回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転】

令和2年10月26日～11月5日の間、海上自衛隊鹿屋航空基地を拠点に米海兵隊普天間飛行場所属のMV-22オスプレイ4機が参加した日米共同統合演習が実施されました。

本演習は、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減することを目的に実施されており、今回は鹿児島県十島村の臥蛇島及び同周辺海空域においてヘリボン訓練等を実施しました。

同演習の実施に当たり、九州防衛局は10月22日～11月6日の間、職員を派遣し、九州防衛局現地連絡所を海上自衛隊鹿屋航空基地に開設するとともに関係自治体等に訓練の情報提供などを行いました。

九州防衛局としては、訓練の実施に当たっては、地元自治体、周辺住民の方々の御理解と御協力が不可欠であると考えており、今後とも地元自治体、周辺住民の方々の不安や懸念を解消すべく適切な情報提供等を行うなど誠心誠意努力してまいります。



▲現地連絡所の様子



▲訓練の様子(その1)



▲訓練の様子(その2)

感謝状贈呈 ～在日米海軍佐世保基地司令官 ストーリングス大佐～

在日米海軍佐世保基地司令官ブラッド・L・ストーリングス大佐の離任に当たり、同氏の在任中の功績に謝意を表すため、令和2年9月14日（月）、佐世保防衛事務所において廣瀬九州防衛局長からの感謝状を奥村佐世保防衛事務所長より贈呈しました。

ストーリングス大佐は、平成29年7月着任以来、日本側の事情をよく理解し、積極的な対応に努め、基地関係諸問題の円滑かつ安定的な解決に尽力されました。

ストーリングス大佐は離任後、神奈川県横須賀市の在日米海軍横須賀基地にて勤務されています。



▲ストーリングス大佐（左）と奥村所長



▲ストーリングス大佐（奥中央）と離任の挨拶を受ける奥村所長（手前中央）

感謝状贈呈 ～村岡えびの市長ほか4名～

令和2年11月、各防衛施設の安定的な使用及び防衛施設行政の推進に多大に寄与された方々に対し、岸信夫防衛大臣及び廣瀬律子九州防衛局長からの感謝状を玉越企画部長、山下管理部長からそれぞれ贈呈しました。今回の感謝状は、これまでの努力やご功績に対し、深い感謝の意を表するものです。

○防衛大臣感謝状授与者

- ・ 村岡 隆明（えびの市長）

○九州防衛局長感謝状授与者

1. 園田 裕史（大村市長）
2. 梅田 穰（山都町長）
3. 池上 滝一（湧水町長）
4. 田中 里美（九州防衛施設地方審議会会長）



▲村岡えびの市長（左）と玉越企画部長



▲園田大村市長（左）と玉越企画部長



▲梅田山都町長（右）と玉越企画部長



▲池上湧水町長（左）と玉越企画部長



▲田中会長（左）と山下管理部長

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は終日。